

第6学年 道徳科学習指導案

稲城市立城山小学校

6年1組 36名

授業者 八木 真澄

1 主題名 夢をもって進む A〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 教材名 「夢」 (東京書籍)

3 主題設定の理由(授業者の指導観)

(1) ねらいとする道徳的価値について(価値観)

人間はよりよく生きようとする資質をあらかじめもっているのではないだろうか。それゆえに人類は発展してきたとも言えるだろう。よりよく生きようとした時に、人は夢や目標をもち、それに向かって努力をしようとする。それは、自分の生き方の道標となり、生活を充実したものにする。そして、たとえその夢が果たせなかったとしても、粘り強く努力すること自体が人生を豊かにする素晴らしい体験であり、その体験はまた次の夢につながっていくであろう。自分なりの夢や目標に向けて努力を続けていきたいという気持ちをもつことは、充実した生活を送るために大切なことだと考えた。

(2) 児童の実態(児童観)

本学年の児童たちは、これまで学習や行事に一生懸命に取り組む姿を見せてきた。また卒業を目の前に控え、これまでを振り返り、努力してきた自分、成長してきた自分をそれぞれが実感している。それと同時に、これから新しい生活へ旅立っていくことへの期待や不安を感じている児童も多い。この授業を通じて、夢や目標を明確にもつことの素晴らしさや、自分にあった方法で粘り強く努力を続けることの楽しさ・尊さを、児童たちと共有していきたい。そしてたとえ挫折したとしても、精一杯努力することは自分自身の大きな財産と誇りになることに気付かせていきたい。

(3) 教材について(教材観)

「ぼく」の小さい頃からの夢は、プロ野球選手になることだ。厳しい練習に耐え、怪我で練習ができない時期をも乗り越え、挫折からも多くを学んでいく「ぼく」。ついに大学でチームのキャプテンとなり、新聞にも取り上げられるようになったが、プロ野球チームからのオファーは、ついになかった。入団テストにも落ち、長年の夢を諦める。しかし、その時の心には爽やかな風が吹くのだった。今回の授業では、夢や目標をもって生きることの充実感、そして、たとえ夢が叶わなくても努力の継続自体に素晴らしい価値と生きる意味が内在していることに気付かせていきたい。

ワークシートを使い、自分と向き合う時間を大切にしていく。

4 研究主題に迫るための手立て

(1) 導入の工夫

本時のねらいに迫らせるために、主題名を提示する。また、事前のアンケートを示すことで自分のこととして考える準備をさせる。

(2) 話し合いの工夫

ホワイトボードを使って、友達と主人公の気持ちを話し合い、自分の思いを表現したり友達の考えを聞いたりし、主人公の心情により深く寄り添わせる手段とする。また、ホワイトボードを掲示することで、よりいろいろな考え方に会わせる。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

夢はついに叶わなかったけれど、清々しい気持ちだという「ぼく」の内面を深く考えることを通して、夢や目標をもって生き続けることの素晴らしさに気づき、夢に向かって努力を続けていこうとする心情を育てる。

(2) 学習指導過程

	学習活動 主な発問 (○) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (●) 評価 (☆) 研究主題に迫るための手立て (数字)
導 入	1 夢や目標について考える。 ○夢や目標をもっていますか。 ・スポーツ選手になりたい。 ・勉強ができるようになりたい。	●コの字型の座席 事前アンケートの内容を紹介する。 <u>(1)</u> ●主題名の提示
展 開	2 「夢」を読んで話し合う。 ○ぼくはどんな気持ちから、誰もしない仕事を「本気でやってやる！」と決めたのでしょうか。 ・野球ができなくてもやれることはある。 ・みんなのためにも自分のためにもがんばろう。 ◎夢に幕をおろし、夕焼けの球場を見つめるぼくは、どんな気持ちだったでしょう。 ・終わったんだ。しょうがない。 ・自分のできることはやりきった。悔いはない。 ・これからも全力で生きていこう。 ○「夢があったからこそ今のぼくがいる」という言葉は、ぼくのどんな思いから生まれたのでしょうか。 ・がんばってきたことで大きく成長できた。 ・努力したことは無駄ではないんだ。 3 自分の体験を想起し、ワークシートに記入する。 ○目標に向かって努力したことで、自分の成長を感じたことはありますか。またその時どんな気持ちでしたか。 ・苦しかったけれど、あきらめずに続けたらできるようになって、うれしかった。 ・いやだなと思っていたことも、簡単にできるようになって、成長したと思った。	●挿絵を使いながら、内容を押さえていく。 <u>4人グループになり、ホワイトボードに意見を書きながら話し合う。(2)</u> ●ホワイトボードを掲示し意見を整理する。 ●やりきった達成感を感じ取らせる。 ☆共感しながら、話し合い活動に参加しているか。(観察) ●記入時間5分 ●自分の成長にまだ気が付けない児童も認め、時間をかけて振り返ってよいことを伝える。 ☆自分の経験を想起しながら、努力した時の気持ちを振り返っているか。(ワークシート)
終 末	4 教師の説話を聞く。	●目標をもたず頑張らなかつたことが後悔につながった話を紹介し、努力を継続しようとする心情につなげる。